

につきまして、年間約150tの減量となり、熊野市、御浜町、紀宝町の広域で構成しております。南牟婁清掃施設組合への負担金におきましても軽減が図られ、経済・環境面等におきまして成果が見られたところであります。

### ◆子育て支援施策

子育て支援施策につきまして、安心して子どもを産み育てられる環境整備を図るため、母子保健事業と連携を密にし、様々な課題に対して、きめ細やかな繋がりのある支援を実施してまいります。

また、子育てサービスについてわかり易くまとめた、子育て



子育て支援センター

ガイドブックを改訂し、子育て世代への周知・啓発をはじめ、誰もが気軽に相談できる体制を構築します。

また、子どもが安全安心に過ごせる場としての子育て支援センター、学童保育事業、遊び場開放事業につきまして、更なる充実に努めてまいります。

ファミリーサポートセンター事業につきまして、サポート会員講習会を開催するなど、引き続き会員の増員に努め、利用者様の多様なニーズに対応できるよう進めてまいります。

子どもの貧困対策については、三重県や関係機関と連携し、具体的な支援策等について検討してまいります。

また、発育相談や児童虐待、育児不安や悩みなどが少しでも軽減できるよう、紀州児童相談所や児童発達支援センター「通園めだか」、紀南圏域障がい者総合相談支援センター「あしす



子育てガイドブック

護予防事業に取り組んでまいります。

### ◆生活困窮者支援

生活困窮者支援につきまして、相談内容に応じて三重県生活相談支援センターや関係機関と連携しながら、就労支援を行うなど生活困窮状態から脱却できるよう取り組んでまいります。

また、第5期障害福祉計画の策定に向けた協議・検討を行うとともに、障害者の自立に向けた就業および日常生活、社会生活上の支援の充実に努めてまいります。

消費税率引上げ

による影響緩和をするための、簡素な給付措置「臨時福祉給付金（経済対策分）」を実施してまいります。支給対象者につきましては、概算で対象者が3,400人、支給総額1,020万円を見込んでおります。

給付金支給対象者の皆様には、申請時期等の周知を図りながら、申請後は速やかに給付で



まちかどエクササイズ

きますよう、努めてまいりたいと考えております。

### ◆健康づくり関連

健康づくり関連につきまして、いかに健康で長生きができるかということの重要性が高まるなか、「健康寿命の延伸」が



貯筋運動



健康チェックデー

と」等と連携し、横断的な支援体制を構築してまいります。

### ◆高齢者福祉施策

高齢者福祉施策につきまして、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、医療・保健・福祉との連携強化を図りながら地域包括ケアシステムの構築を推進してまいります。

具体的には、地域の特性を生かしながら、紀南医師会をはじめとした各医療機関や介護サービス事業所等の関係機関と連携し、効率的に情報共有ができるよう、「在宅医療・介護連携推進事業」に取り組んでまいります。また、地域資源を活用しながら、地域福祉（活動）計画の推進事業と連携した、生活支援体制整備に努めてまいります。

認知症の家族の支援として、認知症サポーター等の住民ボランティアを中心に開催しております「認知症カフェ」については、さらなる利用をいただくために拠点施設を増やすなど、充実化に向けて取り組んでまいります。また、今後増加すると見込まれる認知症のかたを、地域で支えていけるよう、「認知症ケアパス」を作成し、住民や関係機関等に活用してい

対策は、重点課題と考えております。平成29年度から、集団検査による糖尿病糖負荷試験を実施し、自覚症状のない段階から検査を行うことにより、予防活動を充実させてまいります。

また、早期発見・早期治療につなげるため、特定健診・各種がん検診・その他健康づくり検

ただけるよう進めてまいりたいと考えております。悪質商法などの被害から住民を守るために結成された、「高齢者地域見守り隊」をはじめ、認知症のかたと家族の支援を行う生活介護支援サポーター「てまりの会」などのボランティアの育成を図るとともに、社会福祉協議会、民生委員、シルバー人材センター、老人クラブ連合会等との連携強化と活動支援を行うてまいります。

### ◆介護予防事業

介護予防事業につきまして、は、「紀宝まちかどエクササイズ」や、貯筋運動、健康運動教室などの運動メニューを中心とした教室の普及に努めながら、町全体に展開できるよう推進してまいります。

また、ロコモ健診・ロコモ教育の啓発・周知とあわせ、多くの皆様に参加していただけるよう、各地区の老人会等にもご協力をいただきながら取り組んでまいります。

要介護認定を受けられていない約8割の高齢者、特に支援が必要となる手前の虚弱な高齢者が参加できるよう、地域力を生かした住民主体の介

### ◆母子保健事業

母子保健事業につきまして、近年地域のつながりの希薄化などにより、妊産婦等が孤立し不安を抱えやすくなっていると考えられることから、妊娠・出産を経て子育て期に至るまでの切れ目のない支援の強化が重要とされております。

そのため、平成29年度から、妊娠期から子育て期までのさまざまなニーズに対して、総合的相談支援を提供するワンストップ拠点として「子育て世代包括支援センター」を立ち上げてまいります。

具体的には、切れ目のない支援を行うために、妊娠届出時に全ての妊婦と面接を行い、一人ひとりの実情に応じた、産前産後のケアプランを提供してまいります。妊婦訪問や新生児訪問などの機会にケア

多くのかたの願いであります。そのため、正しい生活習慣の習得、ストレスへの対処能力の向上、病気の早期発見・早期治療、重症化予防など、生涯を通じた健康づくりの環境整備に、関係者と連携し取り組んでまいります。

診の受診勧奨に努め、受診しやすい環境整備に取り組んでまいります。こころの健康づくりといたしましては、引き続き正しい知識の普及、相談が受けられる体制づくりを行ってまいります。全身の健康につながる歯と口腔の健康づくりは、「紀宝町歯科保健プロジェクト会議」におい